

『2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたリスクアセスメントの実施目的』

1. 会場設営が予定どおり実施できること

予定どおりに大会を開催するためには、会場や選手村等の大会関連施設の設営が計画どおり完了していることが重要です。会場設営等の準備を計画どおり実現していくためには、携わる人員等を確保し、円滑に業務を推進することはもちろんのこと、設営に関連する資機材や人員等の円滑な輸送が適切に行われることが重要です。

本目的に関連するサービスの例として、運送関連事業者によるサービス、交通インフラ（道路・鉄道・空路・航路）及び海外からの輸入に関連する手続等が挙げられます。

時期：主に開催前

2. 開閉会式のプログラム、各競技が予定どおり安全に実施できること

大会に向けて多くのスタッフが準備に携わり、選手は、能力を最大限発揮するために競技に向けて準備を進めます。また、多くの観客が日本に集まり、海外メディアの報道により世界の注目が日本に集まる中で大会が開催されることから、開閉会式や各競技は予定どおり安全に実施されることが重要です。

全てのプログラムを予定どおり安全に実施するためには、選手・来賓・観客・スタッフの安全の確保や進行を支える大会組織委員会等が準備した競技システム等が安定して稼働することが重要です。また、制御することが不可能な自然災害等に関しては、選手・来賓・観客・スタッフに対して迅速かつ的確に情報を提供することが重要です。

本目的に関連するサービスの例として、各会場における競技の実施を支える機能の提供、各会場へ供給する電力や通信等や気象・災害情報等の安定した提供等が挙げられます。

時期：期間中

3. 選手の能力の発揮に必要な環境を提供すること

世界各国の選手は、それぞれの持つ目標の達成を目指して、厳しいトレーニングや練習を通して能力を最大限に高めて大会に出場します。選手が最高の舞台で能力を発揮するためには、競技に集中するための安全の確保はもちろんのこと、選手村、地方会場周辺の宿泊施設における滞在及び移動等における快適な環境の提供が重要です。

本目的に関連するサービスの例として、各会場や選手村、地方会場周辺における選手の宿泊施設への電力、通信、ガス、上下水道等の日常生活においても不可欠と考えられるインフラ、選手の移動に関わるサービス、体調不良等が発生しても迅速に対応可能な医療サービス等が挙げられます。

時期：期間中

4. 来賓・観客の不満のない観戦やスタッフの安定した業務遂行に必要な環境を提供すること

大会には海外から多くの方々の来日が予想されるとともに、多くの国民が各会場へ足を運ぶことが予想されます。これらの方々が目的地に予定どおりに到着し目的の競技等に様々な形で参加するためには、計画されているインフラ整備が確実に実施されていることはもちろんのこと、来賓・観客・スタッフの円滑な輸送が重要です。また、会場の各種設備、快適な観戦環境を用意するための暑さ対策等が適切に機能するとともに、競技が予定どおり実施できるためには、スタッフがそれぞれの役割を適切に果たすことが重要です。

本目的に関連するサービスの例として、海外からの移動及び国内の移動に欠かせない交通インフラ（道路・鉄道・空路・航路・バス）、海外からの入国に関連する手続、各会場の関連施設へ供給する電力、通信、上下水道、熱供給等のインフラ等が挙げられます。

時期：開催前・期間中

5. 会場にいなくても大会を楽しむために必要な環境を提供すること

国内に限らず、世界中に大会を楽しみにしている方々がいいます。会場での観戦に限らずテレビや PC、スマートフォン等を通じてオリンピック・パラリンピックの感動及び日本の魅力を世界中に伝えていくことになります。この実現のためには、リアルタイムでの競技映像の配信や、コンテンツの配信に必要な環境を安定して運用することが重要です。

本目的に関連するサービスの例として、通信、放送サービス等が挙げられます。

時期：期間中